

2017年開運 新年 下谷七福神めぐり

好天のなか、下谷七福神巡りで、新年を寿ぎました。
皆様健脚で、参加者全員がうち揃って寿老人をスタートし、布袋尊まで90分で踏破しました。

七福神めぐりは江戸時代からの新年開運行事であり、本年も縁起がよくなりそうな予感を得ました。

締めは、有志により上野のビヤホールで、短時間ながら新年早々の反省会をしました。

日時：2017年1月10日（火曜日）日帰り

集合：山の手線 鶯谷駅北口 13時

参加費：1,000円（資料代、グッズ代など）

参加者：25名

順路

出発：鶯谷駅 → 元三島神社（寿老人） → 入谷鬼子母神（福祿寿） → 英信寺（大黒天） → 法昌寺（毘沙門天） → 弁天院（弁財天） → 飛不動尊正宝院（恵比寿） → 樋口一葉記念館 → 寿永寺（布袋尊） → 三ノ輪駅（帰着）

元三島神社（寿老人） 台東区根岸 1-7-11

元寇の弘安の役の際に、河野通有が伊予国大三島神社に必勝祈願した後、当地に分霊を勧請して創建。



階段で新年を寿ぎ、皆さんにこやかな記念写真

入谷鬼子母神真源寺（福祿寿） 台東区下谷 1-12-16

法華宗・仏立山、万治2年（1659年）創建。

毎年7月の七夕に、朝顔市が開かれます。

雑司ヶ谷鬼子母神堂、中山法華経寺とともに江戸三大鬼子母神のひとつです。



英信寺（大黒天） 台東区下谷 2-5-14

浄土宗・紫雲山、慶長年間（1600年頃）の開山。食物



や財福をつかさどるインドの神様です。

弘法大師作と伝わる三面大黒天は、右に弁財天、左に毘沙門天の顔をもっていました。

法昌寺（毘沙門天） 台東区下谷 2-10-6

法華宗・日照山。毘沙門天は仏教の守護たる四天王の一つ「多聞天」の独尊像の呼び名です。

慶安元年（1648年）下谷御切手町付近に創建、元文2年（1737）当地へ移転。

元プロボクサーのたこ八郎の菩提寺であったことから、たこ地蔵がお堂の傍らに祀られていました。

弁天院（弁財天） 台東区竜泉 1-15-9

曹洞宗寺院・朝日山。インドの水を司る神様。

寛永初年に、備中松山城主の水谷（みずのや）伊勢守が、上野不忍池に弁天堂を創建すると同時に、下屋敷であった水の谷の池にも弁財天祠を祀った事で開基。

飛不動尊正宝院（恵比寿） 台東区竜泉 3-11-11

天台宗・龍三高寺、享禄3年（1530）創建。

日本の神様、ガラス越のご開帳。

寺の創建直後、ご住職が、ご本尊のお不動様を奈良県の大峯山まで運んで修行しました。その際、お不動様は一夜にして大峯山から江戸に飛び帰り、人々の願いを叶えたということで、それ以来「飛不動」と呼ばれるようになりました。



現在は、飛行機の神様としても知られ、航空安全を祈る人たちに人気の高いお不動様です。

樋口一葉記念館 台東区竜泉3丁目18-4



明治文壇の才女・樋口一葉にゆかりの深い、下谷龍泉寺町(現・竜泉)に建てられた記念館。記念館は展示替えのため休館で、真向いの公園で一休みをしました。

寿永寺(布袋尊) 台東区三ノ輪1-22-15

浄土宗・正覚山得生院、寛永7年(1630)開山。布袋は唐末の明州(中国浙江省寧波市)の伝説的な仏僧。



第二代将軍徳川秀忠の夫人お江に仕えた寿永法尼という尼さんが、秀忠の菩提を弔うため開山。



御朱印

今回の巡りの各参拝後、頂戴しました。

恭しい御朱印の赤がありがたくせまってきます。今年もよい事がありそうな予感大です。

反省会 上野LION

京成上野駅の地下にありました。夕方の早い時間帯でしたが、有志総勢13名が2テーブルを囲み、談論風発でした。



参加感想文

(東京都文京区)

七福神巡りは毎年友人と行っていますが、WSCで行くのは初めて。当日は天候に恵まれ、見とれるような青空と暖かい日差しの下を歩くことができました。

WSCの行事にしばらくご無沙汰しておりましたので、知らない人もたくさんいらっしゃいましたが、ザ

ルツカンマーゲートの旅で一緒した方々と久しぶりにお話しでき、とても嬉しかったです。

入谷鬼子母神は毎年朝顔市で来ていますが、季節が変わるとまるで別の所のようにでした。樋口一葉会館が休館だったのは残念でしたが、七福神に世界の平和と健康を祈り、一巡り。全ての寺社の御朱印を手にするので七つの災難から除かれ、七つの幸福が受けられるということです。七つのスタンプを押した色紙は大切に家に飾りました。幹事さん、いろいろとありがとうございました。できれば来年もまたよろしく願いいたします。

(東京都杉並区)

今年は何事も『神頼み』に決めました。元旦には「大宮八幡神社」に初詣をし、5日は「山手七福神」を巡り、10日は「下谷七福神」に参加しました。

七福神×2+神社=15の神々にありとあらゆる願いを祈り、それぞれに昨年蓄えた「5円玉」を奉納しました。これで準備は万端、後は“福”が舞い降りてくるのを待つばかりです。

ところで、「成功している人はなぜ神社に行くのか？」の本が出ているのをご存じですか？作者の回し者ではありませんが、神社仏閣には願いがかなうシステムがあるようです。

(埼玉県鴻巣市)

1月10日(火)13時に、山手線鷺谷駅北口にて待ち合わせ、七福神めぐりを開始。七福神とは寿老人(延命長寿の神)、福祿寿(人望福德の神)、大黒天(有福蓄財の神)、毘沙門天(勇気授福の神)、弁財天(芸道富有の神)、恵比寿(敬愛富財の神)、布袋尊(清廉度量の神)のこと。

神社ごとに御朱印を受けてお参りしたので今年はきっと良い1年になると確信する。樋口一葉記念館は、休館日で残念。七福神めぐりを終わり新年会は上野の銀座ライオンで盛り上がる。

(東京都港区)

WSCの新春行事の七福神巡り、村上リーダーが今年も企画し、大変要領よく案内してくださいました。ここが朝顔市のたつ処、酉の市がたつ処と想像を膨らませながら回り、楽しいウォーキングでした。

番外で立ち寄った下谷坂本の富士塚も印象に残りました。また、いつもホームページを管理してくださっている延原さんにお目にかかれ、御礼と今後も宜しくと挨拶できたのも、嬉しかったです。ナイスガイでした。